

1年生 国立国会図書館の特別授業を実施しました

令和4年2月8日(火)1年生の課題研究の時間に、zoom を利用し、国立国会図書館の特別授業を行いました。感染症対策のため、災害科学科は iRis ホール、普通科は各クラスで実施となりました。

授業の目的は「ひなぎく」(ウェブサイト「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ」(<https://kn.ndl.go.jp/>))の愛称)の役割を理解すること、各自が事前に行った防災・減災に関するレポートを深化させる情報検索をすることでした。

まず、国立国会図書館の職員、鈴木三智子さんより震災のデジタルアーカイブ「ひなぎく」の概要と使い方を講義していただきました。その後、生徒達は必要な情報(今回は写真)を iPad やスマートフォンを使い、「ひなぎく」で検索しました。生徒達は1枚の写真から多くの情報を読み取り、考察しました。授業の後半には、鈴木さんへ災害科学科の生徒2名がそれぞれの調べたことを発表し、全体で共有する時間も設けました。生徒のプリントに記入された検索キーワードは多様で、レポート作成後に「ひなぎく」の検索を学んだことで、目的意識を持って調べることができていることがわかりました(別紙 PDF ファイル参照)。



国立国会図書館の特別授業で生徒の記入したプリント

2. (例) を参考に、自分のレポートにプラスできそうな情報を「ひなぎく」で探し、その写真を見てわかったことをまとめよう。

この写真を調べた例です



(例)

オススメのキーワード

- 「避難所 食事」 「支援物資」
- 「避難所 調理」 「消防団」
- 「避難所 掲示板」 「ボランティア」
- 「避難所 子ども」 「ボランティア 高齢者」
- 「避難訓練」 「心のケア」

「いつ」「どこで」「どんな」写真が撮られたか整理できています。自分の考えも加えられています。
※「人と防災未来センター情報検索システム」の情報です。

キーワード	高齢者 ボランティア	外国人
アーカイブ名	岩手震災津波アーカイブ	外国人県民相談窓口
写真からわかったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県下閉伊郡田野畑村で震災の約1ヶ月後に撮影された写真。 ・ 高齢者を中心に、避難所生活で健康維持のため体操が行われたようだ。 ・ 感染予防のためかマスクを着用している。 	<p>撮影日は、1995年2月16日 兵庫県神戸市、 外国人が災害時の不安や思 いを伝えている写真。 距離近く話しているように見え、 話しやすい雰囲気作りがなされて いるように見える。</p>

いつ、どこで撮影されたのか
注目しよう。
あとは、じっくり観察。



避難所 ペット
大木追町震災アーカイブ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県下閉伊郡大木追町で震災の週間後に撮影された写真。 ・ 避難所でのペットの命を守るために動物用のマスクの制作および配布を行っていた。 ・ 写真では高齢者を中心とした避難所での生活の日々を語っているようだ。

自分のレポートに合う資料を探し出し、具体的な事例をまとめられています。

撮影日や写真の状況から鋭く考察してあります。

避難所 公助
東日本大震災アーカイブ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮城県岩手県大槌町役所で2011年3月12日12時08分撮影 ・ 震災翌日にも開かれたお見舞い券とされている携帯の充電が完了9-11をもちいるというは、<u>緊急した状況下の中でも柔軟に対応できている。</u> ・ 施設の入り口のようになっている。そのため、<u>多くの人の目が届くよう、場所と</u> <u>覆っているのからと見守。</u>

1年生の課題研究では、図書館から情報収集の仕方や引用や参考文献の書き方を紹介してきました。この1年で課題研究や国語の授業を通して1年生の調べるスキルの成長が見られました。2年生でもそれを活かし課題研究を充実させられるよう図書館は皆さん応援していきます。

